

堆肥を使って環境にやさしい農業をしよう

第3回耕畜農家交流会開かれる

12月19日、JA豊橋第六事業所において、豊橋市環境保全型農業推進協議会土作り部会が主催する「第3回耕畜農家交流会」が開催され、約60人が参加した。市内の家畜糞を原料とする堆肥、有機質肥料の流通をスムーズにし、それらの促進を図ることを目的に開催された。

講演会では、愛知県農業総合試験場の北村秀教氏が、「土の話と土作り」と題して、「家畜糞の堆



講演する北村秀教氏



交流会

肥は肥料です。肥料成分の足りない部分は化成肥料で補い、上手に利用して環境保全に取り組み、安全・安心な農産物を生産しましょう」と、様々な土壌についての説明や土壌改良基準、家畜糞堆肥等の有機質資材の使用基準などを解りやすく講演した。

講演会終了後、畜産農家等の堆肥見本展示や、堆肥を上手に使用している農家の紹介コーナー、堆肥なんでも質問コーナーなどが設けられ、耕畜農家の交流が積極的に行われた。

生活総合展開催される

12月17日と18日の両日、JA豊橋第六事業所で、日頃のご愛顧に感謝を込めて生活総合展が開催され、多くの来場者で賑った。

時折雪が舞い寒風が吹く両日ではあったが、会場には子供づれの家族も多く訪れ、サービスの温かい甘酒を味わっていた。

会場には女性部の模擬店や、新鮮野菜の直売コーナー、花苗展示即売コーナー等が開設され、農産物や食品に人気が集まっていた。また、住宅のリフォーム相談コーナーや木材・農業資材コーナーなども開設され、来場者はお値打ち価格の農業資材等を買って求めた。



新鮮野菜の販売



花・苗販売



甘酒のサービス